

無雪期テントの基本

テント きほんのき

(パーツの名前と役割)

テントはさまざまな部品で構成されている。
定番のダブルウォールテントで、各パーツを説明しよう。

ベンチレーター

テント内部と外の空気を循環させるための換気口。テント内の熱気や湿気を外に逃がせるので、特に高温多湿の夏は重宝する。複数のベンチレーターやメッシュパネルを利用すれば、さらに効率的な換気が可能だ。



フライシート

テント本体をすっぽりとおおおう布。防水加工が施され、テント本体を風雨から守る。

ペグ

テント本体やフライシートを固定するために地中に埋める杭。ペグを打てば耐風性能は向上する。また、ペグでフライシートをピンと張れば、テント本体とフライシートの間に空間ができるので、結露しにくくなる。



自在

ガイラインの長さを調整する部品。複数の穴が開いており、そこにロープを通す。自在の位置を動かすことによって、ロープの長さを変えられる。自在があれば、ペグ設置後でもガイラインをピンと張ることができる。



ガイライン(張り綱)

テント本体もしくはフライシートとペグをつなぐ細いロープのこと。このロープの先端をペグにつなげてペグを地中に固定すれば、テントが安定し、耐風性は増す。なるべくすべてのガイラインを張るように心がけよう。



前室



テント本体の出入口とフライシートの間にあるスペースのこと。ここはテントの外でありながら雨に濡れないので、登山靴などを置くのに適している。フライシートのあるダブルウォールテントのみが持つ、大きな利点だ。



ポール受け

ポールの先端を固定する部分のこと。金属製の輪にポール両端の細い部分を挿入することで、ポールが固定される。ポール受けの片方が、金属製の輪に挿入するタイプではなく、袋状になっているものもある。

メッシュパネル



テントの入口に設置されているメッシュの窓。テント本体に使用されるナイロンとは違い、通気性がよい反面、雨の浸入は防げない。テント内部を換気する際に使用し、ベンチレーターよりもその効果は高い。

ポケット

テント内部に設置されている小物入れ。メガネやヘッドランプなどを入れられて便利。テント収納袋を入れておけば、テント撤収時に袋を捜すことも減る。外からも手が届く位置にあるポケットは使いやすい。



インナーテント

テント本体のこと。単独での防水性は低いので、フライシートとセットで使用する。

アライテント／エアライズ1
3万6750円 ©アライテント

バスタブ

テント底のシートを、バスタブのように側面まで立ち上げた部分。地面からの冷気や湿気をテント内部に伝えにくくするための仕組みだ。跳ね上がった雨水が縫い目から内部に浸入することを防ぐ効果もある。



ポールスリーブ



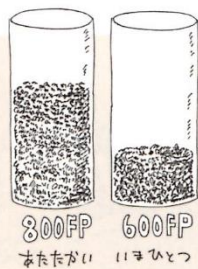
テントにポールを通すための細筒。多くの場合、テントの対角線上に配置される。ポールがうまくスリーブを通らない場合には、スリーブを手前にたぐるとよい。フック式にはスリーブはなく、フックでポールを固定する。

ポール



テントを支える骨組み。半円状にしながら設置し、テント内に空間を生み出す。ポール内部には伸縮性のあるロープが通っており、短く分解して収納できる。アルミ合金やスチールなど、ポールの材質はさまざま。

スリーピングバッグ きほんのき



(羽毛と化繊)

中綿は天然の羽毛か化学繊維。
羽毛は軽いが高価。体力と相談しよう。

化繊

化繊のメリットは、濡れてもある程度の保温力を維持すること、羽毛よりも安価で手に入ることだ。ただし、羽毛に比べると重く、収納サイズ

も大きくなるのが難点。体力的に厳しくないコースを歩くときや、ザックの容量に余裕がある山行に向いている。長期山行でも使用可。



① マウンテンハードウェア／
メンズウルトラミナ32
2万3100円 ② コロンビア

羽毛

羽毛は化繊よりも軽く、コンパクトになるので体力に自信のない人や荷物の多い長期の縦走などに向いている。また、一般的に化繊よりも高価であ

る。注意すべきは水に弱いこと。濡れると羽毛がつぶれてしまい、保温力は急激に落ちる。スリーピングバッグカバーとの併用が効果的。



② イスカ／エア280
2万5725円 ③ イスカ

(スリーピングバッグカバー)

結露で寝袋が濡れては困る…。

そんなとき、水をはじくカバーが大活躍する。

スリーピングバッグの外側をおおうようにして使用する。防水透湿性の素材が結露などの水分からスリーピングバッグを守る一方で、内部の湿気

は外へ逃がす。保温力もアップして暖かい。サイズはスリーピングバッグに合わせる必要がある。必須の装備ではないが、あると便利な一品。



④ モンベル／ブリーズドライテックサイドジップスリーピングバッグカバー 1万3500円 ⑤ モンベル



1. モンベル／スパイラルダウンハガー#1
2万6800円
2. モンベル／スパイラルダウンハガー#2
2万1800円
3. モンベル／スパイラルダウンハガー#7
1万6800円

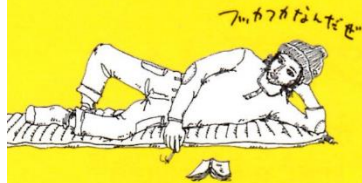
(快適使用温度域)

山の夜、暑すぎたり寒い思いをしったりしないため
表示の「温度域」をよく確認しよう。

スリーピングバッグには、適切な使用温度が設定されている。「10℃～」などの温暖な状況を想定したものは、中綿の量が少なく収納サイズも小さ

い。一方、「-9℃～」などの低温環境用は中綿の量が多いので、収納サイズも大きくなる。サイズだけで選ばずに、使用環境を考慮すること。

スリーピングマット きほんのき



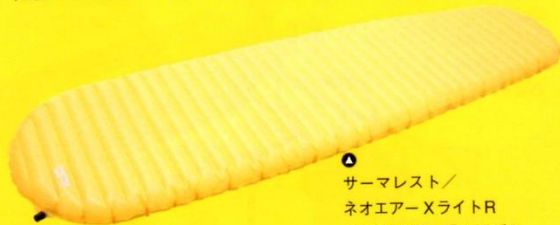
(クローズドセルとエアマット)

マットは構造によって4つのタイプに分かれる。
寝心地と保温のために、さまざまな工夫がある。

エアマット

自分で空気を入れて膨らませるタイプのマット。軽く、小さく収納できる。かつては断熱性や保温性に不安があった

が、最近は熱反射板を取り入れるなど工夫が施され、改善されつつある。破裂すると機能しなくなる。



▲ サーマレスト／
ネオエア-XライトR
1万8900円 ㊟モチツキ

中綿入りエアマット

エアマットの内部に中綿を入れたもの。若干の重量増はあるものの、中が空気だけのものより保温性は格段によい。

膨らませる際の呼吸で内部の綿を濡らしてしまうことがあるので、専用のポンプを使用すること。

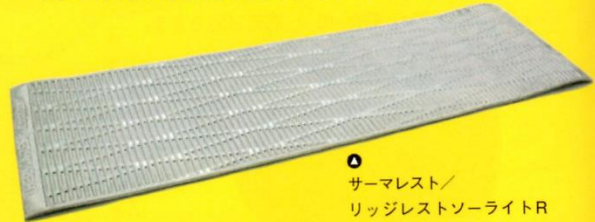


▲ ビッグアグネス／
インシュレーテッドエアコア
1万290円 ㊟ケンコー社

クローズドセル

クローズドセルとは、空気を入れずに使用できる発泡素材でできたマット。多くはエアマットより安い。軽量で断熱

性が高く、寝心地もよい。破裂する心配もなく、使う場所を選ばない。収納サイズの大きいのが玉にキズ。



▲ サーマレスト／
リッジレストソーライトR
3780円 ㊟モチツキ

自動膨張式エアマット

内部にウレタンが入っており、バルブを開くと空気が入って膨張する仕組み。自分で空気を入れるのは最後だけでよく、

膨らませる手間は大幅に減る。全て人力で空気を封入するものに比べると重く、収納サイズも大きい。



▲ サーマレスト／トレイルライトR
8400円 ㊟モチツキ

(長さ と 厚み)

長く、厚いものほど寝心地はよい。
短いマットでも工夫すれば快適に眠れる。

長いマットは足元までカバーできるが、そのぶん重くなる。軽量化のためには短いタイプを購入し、マットのない部分にバックパックを敷けば対応できる。厚いマットは寝心地はよいが、薄いマットに比べると重く、収納サイズも大きい。



1. ニーモ／ゾア ショート 7350円
2. ニーモ／アストロエア-インシュレーテッド
1万3650円 ㊟イワタニ・プリムス



たたみは
こんでけ
コンパクト

ストーブ きほんのき

（直結型と分離型）

ガスストーブには直結型と分離型がある。
じっくりと調理したいなら分離型がオススメだ。

直結型

ガスカートリッジの真上にバーナーヘッドを取り付け、その上に鍋を置くタイプ。ホースがないため小さく収納でき、そのぶん軽い。重心が高いの

で不安定になりやすい。特に鍋が大きく重い場合には注意が必要だが、手間のかかる料理でなければ、このタイプで充分対応できる。

● プリムス / 153
ウルトラバーナー
8925円 ◎イワ
タニ・プリムス



分離型

ガスリンストーブと同様、ガスカートリッジとクッカーを載せるバーナーヘッドが分離したタイプ。重心が低く、ゴトクも大きいので大きい鍋で

も安定する。直結型にはないホースがついているため重量は若干増え、収納サイズも大きくなる。大きいクッカーでの料理に向いている。

● プリムス / エクスプレス・スパ
イダーストーブ 8610円 ◎
イワタニ・プリムス



（ガソリンとガス）

ストーブの燃料は、ガソリンとガスが主。
操作性と重量を吟味し、計画に合わせて選ぼう。

ガソリン

低温時でも安定して火力を発揮するのが特徴。その一方、器具自体が大きく、液体燃料

を使うので重くなる。着火や火力調整はガスストーブよりやや難しい。

● SOTO / MUKA ストーブ
1万7325円 ◎
新富士バーナー



〔着火手順〕



ガス栓を徐々に開けて火力を調整する。



ガスを出して着火。予熱が必要なものも。



ガソリンを気化させるためにポンピングする。

ガス

最近の主流はガスストーブ。コンパクトで軽く、セットアップや着火も難しい。ガスカートリッジにはノーマルタイプと寒冷地タイプがあるので、行き先によって使い分ける。

〔着火手順〕



バーナーヘッドをガスカートリッジに接続。



ガスを少量出し、点火装置やライターで着火。



ガス栓をさらに開けて火力を調整する。

● SOTO / マイクロ
レギュレータース
トーブ 8400円 ◎
新富士バーナー

